こまいぬ企画、観世清和×野村萬斎が率いる伝統芸能プロジェクト『KEISHO―継承』を始動

～世界遺産をはじめとする歴史的文化財での特別公演と多言語映像・SNS発信で、日本の伝統芸能を世界の「観光必修体験」へ～

株式会社こまいぬ企画(本社：東京都新宿区、代表取締役：藤間礼多、以下こまいぬ企画)は、二十六世観世宗家 観世清和氏を実行委員長、狂言師 野村萬斎氏を芸術監督に迎え、伝統芸能プロジェクト『KEISHO―継承』(令和8年度日本博委託事業)を始動いたします。こまいぬ企画は企画運営・事務局を務めます。
本プロジェクトは、能・狂言・日本舞踊の宗家級と次世代の継承者が、世界遺産をはじめとする歴史的文化財で同じ舞台に立つ公演シリーズです。第1回は2026年12月23日(水)に奈良・薬師寺、第2回・第3回は2027年1月18日(月)・19日(火)に京都・東本願寺で開催します。あわせて、株式会社TYO、NONVERBAL,Inc.の制作協力のもと、公演の様子や出演者の言葉を映像に収め、多言語でSNSを中心に世界へ届けてまいります。

▼ 公式Instagramにて順次公開中
・KEISHO 公式Instagram：https://www.instagram.com/keisho_japaneseculture/

▼KEISHO公式サイト
https://keisho.komainukikaku.com/



KEISHO　こまいぬ企画 KOMAINU KIKAKU　NONVERBAL INC.　tyo　日本博 JAPAN CULTURAL EXPO

●プロジェクト『KEISHO―継承』立ち上げの背景と目的
「KEISHO -継承-」は、日本の伝統芸能の本質を世界へ、そして未来へつなぐプロジェクトです。能・狂言・日本舞踊を通して、日本の伝統芸能に触れる新しい入口をつくり、その背景にある歴史・文化、本質・魅力を国内外へ届けます。

発意は、二十六世観世宗家・観世清和。「継承を次世代につなぐために、新たな場をつくりたい」という宗家の思いから生まれたプロジェクトです。

宗家は実行委員長として全体の理念と方向性を示し、その実現を息子の観世三郎太に託しました。三郎太は同世代の藤間礼多を企画運営に置き、野村裕基、花柳ツルらに声をかけ、若手で会場を探し、寺院との協議を重ね、公演の企画を組み立ててきました。芸術監督には野村萬斎が就任しています。宗家が節目ごとに方向性を示し、具体的な企画・運営は次世代が担う。この役割分担そのものが、『KEISHO―継承』の目指す継承の形です。

【背景と課題：観光必修体験の不在と鑑賞のハードル】
世界の主要観光地には、バリ島のケチャダンスやフランスのオペラ、スペインのフラメンコのように、その土地の文化を象徴する「観光必修体験」が根付いています。日本も世界に誇る伝統芸能を有しながらも、訪日外国人旅行者や初心者にとっては「どう鑑賞すればよいかわからない」という難しさがハードルとなり、実際の観光体験としてその真髄に触れられる仕組みが十分に整っていないという課題があります。

【解決策：「おもしろがり」の視点と多言語**SNS**映像戦略】
そこで『KEISHO―継承』では、伝統芸能の見方としての「正解を教える」のではなく、鑑賞者自身が自らの感覚で面白さを見出す受け手の構えとして「おもしろがり」という視点を提供します。過去の文化をただ保存するのではなく、いまを生きる人々の感性に開き、未来の文化資産として更新し続けることを目指しています。

『KEISHO―継承』が最も大切にしているのは、「文化を守るうえで最も大事なのは、本物の芸が次の世代へと正しく継承されていくこと、そしてその姿が国内外に広く伝わっていくこと」という思想です。本プロジェクトでは、この思想を神社仏閣などの世界遺産・重要文化財を舞台とした特別公演と、本家自らが「伝統芸能の見方・本質」を世界へ伝授します。それを、多言語SNS映像戦略によって具現化し、日本の芸を次の世代と世界の観客へ繋いでまいります。

■ 多言語映像・**SNS**発信と制作パートナーについて

【文化財での公演を、映像で世界へ届ける】
『KEISHO―継承』では、公演や稽古の様子、出演者へのインタビューを映像に収め、日本語・英語・中国語でInstagramやYouTubeなどから発信します。本家自らが「伝統芸能の見方・本質」を語る映像を通じ、初めて伝統芸能に触れる方にも新たな入口を開きます。

映像制作・SNS運用およびPRは、広告映像を中心に手がける株式会社TYOがパートナーとして担い、同社の映像コンテンツシリーズ「Another Side of Japan」とも連携します。ブランディングデザインはNONVERBAL,Inc.が協力します。

今後は、演目や公演の映像化にとどまらず、裏方や継承者にも光を当て、蓄積した映像を再編集したドキュメンタリーの制作なども見据えて、両社とともに発信を続けてまいります。

参考)Another Side of Japan HP　https://asj.tyo.co.jp/

プロジェクト第一弾：世界遺産・奈良 薬師寺［食堂］特別公演

プロジェクトの第一弾として、1300年の歴史を誇る世界遺産・薬師寺にて特別公演を開催します。本公演は、芸の本質を語る鼎談と、観世流・和泉流の至高の芸による演目を一体とした特別なプログラムで構成されています。

- 公演名：『KEISHO―継承』世界遺産・奈良 薬師寺［食堂］特別公演
- 日時：2026年12月23日(水) 14:30開場 ／ 15:00開演
- 会場：法相宗大本山 薬師寺［食堂］(奈良県奈良市西ノ京町457)
- 出演・プログラム：
  - 鼎談：観世清和(二十六世観世宗家)、野村萬斎(狂言師)、松久保伽秀(薬師寺執事長) ／ 進行：藤間礼多
  - 狂言『蝸牛』：野村裕基、野村太一郎、野村萬斎、中村修一
  - 能『清経 替之型』：観世三郎太(シテ)、観世清和(地謡) ほか
- チケット発売：
  https://eplus.jp/sf/detail/4619950001-P0030001





※本公演は、独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁が推進する日本博事業の一環として実施されます。
本公演に続き、2027年1月18日(月)・19日(火)には京都・東本願寺の能舞台で第2回・第3回公演を予定し、その後も継続して開催してまいります。

【コメント】藤間礼多(企画運営・事務局長／株式会社こまいぬ企画 代表取締役)
「宗家は、旗を立て、骨格を示したうえで、形にすることを私たちに委ねてくださいました。道を踏み外しそうなときに正してくださる方がいる。その安心があるから、私たちは自分たちの判断で動けます。伝統芸能は難しいものですが、分からなくていい。文化財の空気の中で一度見て、自分なりのおもしろがりを見つけていただきたい。」

■ プロジェクト体制・会社概要

【「KEISHO −継承−」プロジェクト概要】

- 実行委員長：観世清和（二十六世観世宗家）
- 芸術監督：野村萬斎
- 副実行委員長：観世三郎太（能）、野村裕基（狂言）、花柳ツル（日本舞踊）
- 企画運営・事務局長：藤間礼多（株式会社こまいぬ企画）
- 主催：KEISHO実行委員会／株式会社こまいぬ企画
- 制作協力：NONVERBAL,Inc. ／ 株式会社TYO
- 事業：令和8年度日本博委託事業

【株式会社こまいぬ企画】
「日本の伝統芸能を社会と再接続する」ことを使命に、公演の企画・制作・演出、文化体験プログラムの開発などを手がけています。国内外の文化イベント、ラグジュアリーブランドとの協働などを通じ、日本の伝統芸能の魅力を発信しています。また、自社企画でも若手伝統芸能集団「禮 −REI−」や、東京藝大と連携した若手プラットフォーム「DEN−TO」などを展開しています。

社名：株式会社こまいぬ企画
代表者：代表取締役　塩井 淑大（藤間 礼多）
本社所在地：東京都新宿区西五軒町12−1−2101
創業：2023年4月12日
資本金：100万円
主たる事業：伝統芸能公演の企画・制作・演出、文化体験プログラムの開発
URL：https://komainukikaku.com/

【株式会社TYO】

TYOは、広告映像を中心としたコミュニケーションコンテンツの戦略立案・企画・制作を手がけるプロデュースカンパニーです。テレビCMやオンライン動画などの年間制作本数は1,000本以上。総社員数約300名、うち80名のプロデューサーが在籍しており、国内映像プロダクション業界でもトップクラスの規模を誇ります。
【最高の制作チームで、領域を超え、心を動かし、「伝わる」ものを作りつづける。】をMissionに掲げ、多様な価値観が共存できる社会を目指し、今日も誰かの心を動かすものを作りつづけています。

社名：株式会社TYO
代表者：代表取締役社長　早船 浩
本社所在地：東京都港区赤坂2-14-5 Daiwa赤坂ビル6F
創業：1982年4月2日
資本金：1億円
主たる事業：広告映像を中心としたコンテンツの戦略立案・企画・制作
株主：KANAMEL株式会社(100%)
URL：https://tyo.co.jp/

【NONVERBAL,Inc.】

すべての心に愛（ブランド）を。を企業理念とし、2010年創業以来、ブランディングデザイン事業を主軸に企業のマーケティング、デザイン、プロモーションをソリューションとして1500案件以上のブランディング実績があります。変動が多く、複雑かつ多様性のある時代トレンドに適応するのではなく、先を見据えた変化を推進する日本企業のブランディングの伴走をし続けます。

社名：NONVERBAL,Inc.
代表者：代表取締役　冨士 武徳
本社所在地：大阪府大阪市中央区本町 3.1.10
創業：2010年2月2日
資本金：1050万円
主たる事業：ブランディングデザイン
株主：株式会社KASASAGI
URL：https://www.nonverbal.co.jp/

■ 報道関係者のお問い合わせ・取材のお申し込み

株式会社こまいぬ企画　KEISHO―継承 事務局
担当：塩井 淑大（藤間 礼多）
TEL：090-8104-0040
Mail：keisho@komainu-kikaku.com
公式サイト：https://keisho.komainukikaku.com/
Instagram：@keisho_japaneseculture

出演者への個別インタビューおよび公演当日の取材については、事務局までお問い合わせください。